デジタル社会推進実践ガイドブック DS-431

コアデータモデル解説書  
個人

2025年（令和7年）3月25日

デジタル庁

|  |
| --- |
| [キーワード]  個人、データモデル、住民、社員、生徒  [概要]  個人の情報をシステム実装する際に参照すべきデータモデルについて解説するガイドブックです。このガイドに従いデータ設計を行うことで、同じ設計規則に従うシステム間、分野間でのデータ連携を容易かつ正確に行えるようになります。また、データ設計を実施するコストも削減することができます。 |

# 個人のデータモデル

個人の情報を記述する際のデータモデルです。行政組織が住民のデータを整備する場合の他、民間事業者や学校法人が社員や生徒、教員の情報を整備する場合などに活用されることを想定しています。氏名や連絡先などの基本的な情報は基礎項目とし、データの利用シーンに合わせた必須項目をパターン化しています。また、基礎項目以外の情報として拡張項目を用意しています。

必須項目以外は任意項目なので、用途に応じて基礎項目や拡張項目を選択、あるいは独自項目を追加するなどのカスタマイズを行って利用してください。

## 個人データモデルの項目

個人データモデルの基礎項目は表1、拡張項目は表2の通りです。基礎項目に対する必須項目のパターンについては「1.2必須項目パターン」を、英語名や記入例などを含む詳細については、別添の「438\_コアデータモデル\_DMD.xlsx」を参照してください。

表1 個人データモデルの基礎項目一覧

|  |  |
| --- | --- |
| 項目名 | 説明 |
| ID群 | 個人番号、教員番号など |
| 氏 | 氏 |
| 名 | 名（ミドルネームを有している場合は、区切り文字として半角空白を使用した上でミドルネームを記載してもよい。例：ミドルネーム＋区切り文字＋名） |
| 氏(カナ) | 氏のカナ表記 |
| 名(カナ) | 名のカナ表記 |
| 氏(英字) | 氏のローマ字表記 |
| 名(英字) | 名のローマ字表記 |
| 氏名 | 氏名（氏、名のセット）、区切り文字は半角空白とする |
| 氏名(カナ) | 氏名（氏、名のセット）のカナ表記、区切り文字は半角空白とする |
| 氏名(英字) | 氏名（氏、名のセット）のローマ字表記 |
| 国籍 | 国籍名 |
| 性別 | 性別名 |
| 生年月日 | 生年月日 |
| 死亡年月日 | 死亡している場合、死亡年月日 |
| 備考 | その他特筆事項 |
| 住所 | 居住住所情報 |
| 連絡先情報 | 連絡先住所の情報 |

表2 個人データモデルの拡張項目一覧

|  |  |
| --- | --- |
| 項目名 | 説明 |
| ミドルネーム | ミドルネーム |
| ミドルネーム(カナ) | ミドルネームなどのカナ表記 |
| ミドルネーム(英字) | ミドルネームなどのローマ字表記 |
| 旧氏 | 旧氏 |
| 旧氏(カナ) | 旧氏のカナ表記 |
| 旧氏(英字) | 旧氏のローマ字表記 |
| 通称名 | 通称名 |
| 通称名(カナ) | 通称名のカナ表記 |
| 通称名(英字) | 通称名のローマ字表記 |
| 戸籍氏名 | 戸籍上の氏名表記 |
| 戸籍氏 | 戸籍上の氏 |
| 戸籍名 | 戸籍上の名 |
| 秘匿情報 | 秘匿事項（DV等） |
| 役割関与情報 | 委任先、保護者、続柄など |
| 住民登録住所 | 住民登録の住所 |
| 出生国 | 出生国名 |
| 年齢 | 記録時点の年齢 |
| 身長(cm) | 記録時点の身長（単位：cm) |
| 体重(kg) | 記録時点の体重（単位：kg) |
| 機能支援の要否 | 身体障碍や車椅子など、何らかの補助が必要かどうか |
| 機能支援の種別 | 視覚支援、聴覚支援、移動支援など |
| 世帯主 | 世帯主の情報 |
| 既婚・未婚 | 既婚か未婚の種別 |
| 配偶者の有無 | 配偶者の有無 |
| 子の有無 | 子の情報（子の有無） |
| 学生 | 学生かどうか |
| 収入の有無 | 記録時点の収入の有無 |

### 役割関与情報について

教育機関における保護者など、個人に紐づく別の個人についての情報は「役割関与情報」に記述します。ここで個人と個人の関係性と、指し示す個人（保護者であれば両親など）の情報を記述します。記述のフォーマットの詳細はDMDの役割関与情報型を参照してください。

### 国の名称とコードの扱い

個人や住所のデータモデルでは国の名称や国を表すコードを扱う項目が存在します。これらについては国際標準であるISO 3166-1及びJISX0304に従って管理します。コードで表す必要がある場合はアルファベット3文字（日本ならば「JPN」）で表すISO 3166-1 alpha-3での管理を標準とします。

### 性別のコードの扱い

個人のデータモデル等で性別をコードで管理する場合は、国際標準であるISO 5218に従って管理します。すなわち「0:不明」「1:男性」「2:女性」「9:その他」となります。ここでいう性別とは生物学的性差（sex）を差し、文化的社会的性差（gender）は別項目として管理します。

## 必須項目のパターン

基礎項目のうち、必須とする項目のパターンは表3の通りです。データの利用目的に合わせてパターンを選択して利用してください。

表3 個人データモデルの必須項目のパターン

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目名 | 必須 パターン1 推奨:高 | 必須 パターン2 推奨:中 | 必須 パターン3 推奨:中 |
| ID群 | 必 | 必 |  |
| 氏 | 必 | 必 | 必 |
| 名 | 必 | 必 | 必 |
| 氏(カナ) | 必 | 必 | 必 |
| 名(カナ) | 必 | 必 | 必 |
| 氏(英字) | 必 |  |  |
| 名(英字) | 必 |  |  |
| 氏名 |  |  |  |
| 氏名(カナ) |  |  |  |
| 氏名(英字) |  |  |  |
| 国籍 |  |  |  |
| 性別 |  |  | 必 |
| 生年月日 |  |  | 必 |
| 死亡年月日 |  |  |  |
| 備考 |  |  |  |
| 住所 |  |  | 必 |
| 連絡先情報 |  |  |  |

# 変更履歴

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 改定年月日 | 改定箇所 | 改定内容 |
| 2025年3月25日 | 全体 | データ項目を基礎項目と拡張項目として再定義 必須項目のパターン化を追加  個人連絡先の削除 |
| 2023年1月12日 | P3 | 個人データモデルの項目に戸籍氏、戸籍名を追加 |
| 2022年3月31日 | - | 初版決定 |